

# SAJ サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌 サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.26

2020.10 月号

# カンボジア クメール正月

孤児院の子どもたちはやっと帰省



毎年4月にクメール正月があり、子どもたちは親や親せきや知り合いのところへ帰省をしていましたが、今年はコロナウイルスの影響で、8月15日~8月21日のクメール正月の振替時に帰省しました。実の両親がいない子どもたちも親戚や祖父母、知り合いのところへ帰ります。子どもたちは久しぶりに家族と過ごせる時間が楽しみで、移動中のバスの中から喜びが伝わってきました。帰省の際には保護者へ園のルールや子どもたちの様子について話し、書類を用意して今後の孤児院の活動について理解してもらうように各家庭に説明をしました。

## 支援活動のご報告(指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします!

#### 孤児院運営支援

## ソーラーパネル・電気の設置

カンボジアの電気会社社長ロアッタナー様からのご寄附で、 事務所、日本人スタッフの部屋、食堂、勉強部屋、ゲストルームの電気をソーラー電気に切り替えました。更に単独のソーラー電気を3本設置していただき、暗闇だった園に明かりが 灯りました。維持・修理費もご寄附でしてくださると約束していただきました。









## 孤児院リトルハーツを視察

保母さんの研修ということで、ベルギー人が運営している孤児院へ行きました。パソコンルームや図書室、洗濯機など設備も整っており、SAJの孤児院とは異なる環境で運営していました。洗濯物がきちんと干されていたり、シューズボックスに靴がしっかり収納されていたりと清潔感があるなと感じました。子どもたちのためにこれからも改善を進め、少しずつ環境を整えていきたいと思っています。









## アイスクリーム屋さん来園!!

いつも子どもたちが勉強を頑張っているので、アイスクリーム屋さんにお願いをして孤児院に来てもらいました。コロナで外に出ることが出来ず、更に暑い環境にずっといる子どもたちにとって息抜きの時間となりました。これを機に更に勉強に励んでもらいたいと思います。













#### **SAJ Farm Letter**



#### 田植え開始

カンボジアでは雨季に入り、毎日のように雨が降っていま す。SAJファームでも8月より田植えの準備に入りました。 田んぼに昨年収穫した籾(モミ)を撒き、約1ヶ月育苗しま す。現在は、順調に元気な稲苗が育っています。9月頭には田 んぼに池から水を汲み入れ、トラクターで代かきを行い、9月 2週目にはスッタフー同で田植えを行う予定です。例年は、孤 児院の子供たちの農場研修の期間に合わせ、手伝ってもらう のですが、今年はCOVID-19の影響で残念ながら中止にな りました。来年1月の収穫時期には、子供たちに来てもらい体 験してもらう予定です。収穫したお米は毎年全量孤児院に出 荷しています。例年、精米後重量約600kgほどで孤児院の子 供達の食事の3ヶ月分の量になっています。子供たちには、 この農場研修を通して、毎日の食事ができることへの感謝の 気持ちをしっかり感じでほしいと思っています。(農場長酒井)









※SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場(農場)として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

#### 日本本部からのお知らせ

#### サバーイ通信はメール配信になります!

今まで、半年に一度まとめてサバーイ通信を送付しておりました が、ペーパーレス化の促進を目的に、今月からサバーイ通信を毎 月メールで配信します!

メール配信ご希望の方はsajinfo@schoolaidjapan.or.jpへ ご連絡お願い致します。

今後もさらに、鮮度のある情報をお届けしたいと思っています。 皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

★サバーイ通信はバックナンバーも含め HP にも掲載しています。

#### プノンペン事務所からの報告

#### 会計事務所との契約

SAJ全体の毎月の税金手続きのため、会計 事務所と契約しました。

SAJ全体の税金支払いは、概ね1ヶ月に 900ドルくらいと試算。(現在、内容を精査 中)



# 理事評議員会の

SAJは、すべての理事で構成され業務に 関する決定を行う理事会と最高議決機関で ある評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

- ■代表理事:渡邉美樹
- ■理事:鳥井親一、清水和雄、 武長彩子、高橋亮
- ■業務執行理事:青木茂雄
- ■評議員:大江光正、清水邦晃、佐藤誠、
- 戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美 ■監事:片山進平、清野貴彦

第 208 回理事評議委員会が 2020 年 9 月 28 日に開催となりました。

#### [報告事項]

報告 1: 孤児院報告 近況報告

報告2:プノンペン事務所報告 報告3:バングラデシュ報告

報告 4:SAJ Farm 及びおしぼり、その他レモングラス製品の報告

報告5:ジャパン SDGs アワード申請

報告6:会計報告

以上につき、佐藤事務局長、青木業務執行理事より説明がなされこれを了承した。

#### [決議事項]

議案1:コロナ禍におけるお米支援・ふれあいサポートプランの拡大に関する検討と承認 佐藤事務局長より説明がなされ、全員異議なく承認した。

## 代表理事メッセージ オークンチュラーン

代表理事 渡 追美樹

『コロナの明日へ~逆境の経営論 全国 の社長に50のエール~』(アチーブメン ト出版)を上梓しました。コロナ禍で苦 しむ全国の中小企業の経営者に読んで いただきたいと思っています。第四章の タイトルは「逆境のとき、渡邉美樹が大 事にする10の言葉」です。その一つが「起 きていることは、すべていいこと]です。 カンボジアもバングラデシュも、3月か ら休校が続いています。孤児院の子ども たちは学校に行けず、園を出ることすら できません。友達に会うこともできませ ん。それでも「起きていることは、すべて いいこと」です。これまで、孤児院の職員 が何度繰り返しても習慣化できなかっ

たうがいや手洗いが、コロナ感染への恐 怖心からすっかり習慣化しました。孤児 院で朝から晩まで集中して勉強できるよ うになりました。毎日、日本語を学ぶこと で、日本語力もだいぶ上達しました。そし て、将来の夢について真剣に向き合うこ とができました。

その結果、「孤児院を卒園後は日本で働き たい]と夢の進路変更をした高校3年生 の女の子が二人います。彼女たちが日本 で確固たる技能を身に着け、母国に戻っ て成功できたとき、こう思うことでしょ う。「コロナで園の外に一歩も出れなかっ た高校三年生の時に、自分の将来につい て真剣に考えたからこそ、今の自分があ

る。コロナでの休校は、自分にとって良 いことだった」と。

孤児院の子どもたちは、貧困や虐待な ど、多くの苦しみを背負って生きてきま した。「それも、自分にとっては良いこと だった」と、いつかそう思えるような人 生を歩んでほしいと思います。



みなさまのご協力

お願いいたします。

カンボジアではコロナの影響で以下の物資が必要になっております。 孤児院の子どもたちやふれあいサポートプランで支援している学校にお渡しします。

・子ども用マスク 目標 2.000枚 ・大人用マスク 目標5,000枚

・体温計(非接触赤外線のみ)

Smile Smile BOX

目標100個

\*マスクは耳が痛くならない洗えるものが必要です。\*ご不明点等ございましたらSAJ本部へお問い合わせください。

## ご支援いただいた寄附

2020年

8月の寄附金合計 5,089,523円

(内訳) 会員会費 1,745,100円 一般寄附 1,362,168円

> 指定寄附 1,982,225円

#### 募金箱回収ありがとうございました

2020年8月募金箱回収

磯丸水産 北心斎橋店

●SFPホールディングス(株) 餃子製造販売店 中野いち五郎 鳥良商店 大宮東口駅前

●ワタミ(株)

□「ミライザカ」高崎西□駅前店、高槻店、海浜幕張北□ aune ビル店、駒沢大学店、

葛西駅前店、名鉄岐阜駅前店、東三国駅前店、門前仲町店

□「鳥メロ」四条鳥丸店、江古田駅前店、椎名町駅前店

□「和民」五反田桜田門店 □「坐・和民」国分寺南□店

□「GOHAN」八重洲店、みなとみらい店 □「にくスタ」町田旭町店 □居酒屋渡美

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2020年4月現在のものです。 募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

### これまでの実績

いただいた寄附金の累計額

(2001年度~2019年度)

30 億

8,223万5,392円

建設した学校の合計

(2001年度~2019年度)



308 校

現在、SAJの建設した 学校で授業を 受けている児童・生徒の人数

(2020年3月現在)

ふれあいサポートプランで 文房具や制服を受け取った 児童数の累計

(2003年度~2019年度)



96.705人

14,494 人

SAJの建設した学校で お米を受け取った 児童数の累計

(2006年度~2019年度)

10,527人

SAJ の建設した学校で 朝給食を支給された 児童数の累計

(2006年度~2019年度)

117,132人

#### 皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

#### 会費

会員会費(年額)1 口 12,000円 法人会費(年額)1口120,000円

#### 一般寄附

用途は指定しないで 金額も自由な寄附

#### 指定寄附 (使い道を指定する寄附)

●学校建設寄附(1) 一口寄附(一口 100,000円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口 12,000円から)

●食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)

●孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細は SAJ 事務局までお問い合わせください。

#### インターネットでの寄附が、 便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく ことができます。寄附の種類も選べます。

https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/



#### 会費・寄附金のお振込み

● 郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行:蒲田支店(普) 4353626 □座名:公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

#### 寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公 益財団法人です。そのため、会費や寄 附金は、税制上の優遇処置を受けるこ とができます。詳しくはお問い合わせ ください。

公益財団法人 School Aid Japan 本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793 Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp http://www.schoolaidjapan.or.jp